

平成30年警防概況



羊蹄山ろく消防組合

■ 目 次 ■

1	災害出動概要		P1
2	火災の発生状況		P1
3	救急出動の状況		P4
4	救助出動の状況		P7
5	応援出動の状況		P10
6	その他の災害出動状況		P10
7	ヘリコプターの要請状況		P10
8	災害通報受付		P11
9	消防団員の出動概要		P12

=====

表紙：平成 30 年北海道胆振東部地震
（緊急消防援助隊・北海道広域消防相互応援隊）

平成30年 羊蹄山ろく消防組合警防概況

1 災害出動の概要

平成30年中における火災、救助等の災害出動（救急出動除く。）件数は、348件（前年比33件減）、救急出動件数は、2,081件（前年比36件減）と昨年に比べ減少した一方で、救助出動は増加となったが羊蹄山ろく消防組合の救急出動を含めた災害出動総件数は、2,429件となり前年に対し69件減少に転じた。（第1表参照）

また、これらに対する消防吏員の出動人員は、8,315人で、出動件数同様に前年に対し164人減少した。

消防組合構成町村別（倶知安町・蘭越町・ニセコ町・真狩村・留寿都村・喜茂別町・京極町）の災害出動町村別及び月別状況は付属資料1-1、1-2のとおりとなっている。

【第1表 災害出動の状況】

出 動 区 分		単 位	平成30年	平成29年	増 減
火 災 出 動		件	27	26	1
救 急 出 動		件	2,081	2,117	△36
救 助 出 動		件	66	62	4
警 戒 出 動		件	249	290	△41
調 査 出 動		件	2	1	△1
応 援 出 動		件	4	2	2
合 計		件	2,429	2,498	△69
出 動 人 員	消防吏員	人	8,315	8,479	△164
	消防団員	人	219	370	△151
	合 計	人	8,534	8,849	△315

※救助出動・・・救助出動（交通事故、山岳救助等）、多数傷病者救急救助出動、捜索出動（山菜採り捜索等）

※警戒出動・・・警戒出動（危険物漏洩、火災と紛らわしい行為等）、水防出動、危険排除出動（自然災害による屋根飛散防止等）、支援出動（ヘリコプター離着陸支援等）

※応援出動・・・羊蹄山ろく消防組合管轄区域外への出動

2 火災の発生状況

（1）火災種別・町村別の火災発生状況

平成30年中における火災の概況を見ると27件発生（事後聞知3件）しており、前年比較で1件の増加である。町村別にみるとニセコ町9件が最多となり次いで倶知安町7件、蘭越町6件、留寿都村3件、喜茂別町、真狩村各1件となっている。京極町は無火災であった。（第2表参照）



【12月27日 建物火災（ニセコ町）】

第2表 町村別の火災発生状況

区分 町村別	火災 件数	火災種別				死傷者		焼損面積			損害額 (千円)	り災状況		
		建物火災	車両火災	林野火災	その他	死者	負傷者	建物 (㎡)	(床・表面積)	林野等 (a)		焼損棟	世帯	人員
倶知安町	7	5	2					452.24			65,824	6	3	7
蘭越町	6	4			2			37.07	1.38		5,036	3	2	6
二セコ町	9	4	1		4	1		204.80	6.04		297	4	3	6
真狩村	1	1						558.90			36,956	1		
留寿都村	3	2			1			202.90	0.50		10,980	1		
喜茂別町	1				1						78			
京極町														
合 計	27	16	3		8	1		1455.91	7.92		119,171	15	8	19

※二セコ町内で発生した火災のうち1件調査中のため損害額は暫定値(平成31年2月15日現在)

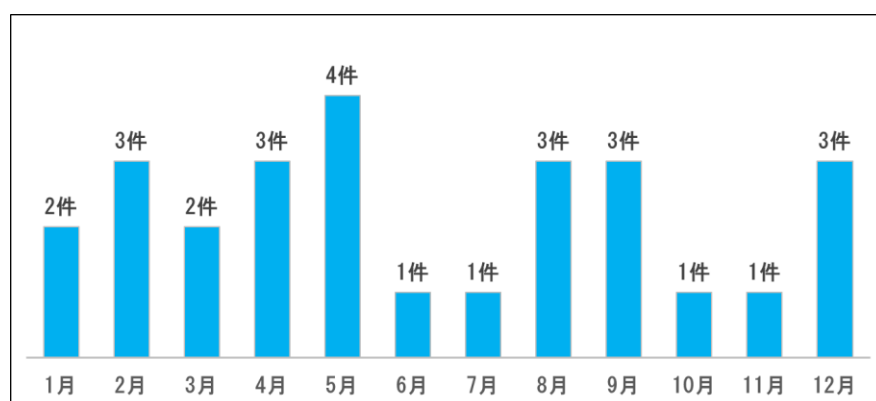
火災種別では、建物火災が最も多く16件(前年比5件増)発生し、全焼5件、半焼1件、部分焼6件、ぼや4件となっている。用途別でみると、一般住宅6件、倉庫・宿舍が各3件、店舗併用住宅・ホテルが各1件、その他2件で発生し、主な出火原因は、ストーブやコンロに起因するものが多かった。

建物火災以外の発生件数は、車両火災3件(前年比2件減)、その他火災(野焼き、ごみ焼きからの飛火など)8件(前年比2件減)となっており昨年同様、林野火災は発生していない。

【月別火災発生状況】

月別火災発生件数は5月の4件が最も多く、空気が乾燥する時期に多く発生している傾向がある。(第3表参照)

第3表 月別火災発生件数



【出火率(人口1万人当たりの火災発生件数)】

出火率は7.53件で、近年の全道出火率(平成28年3.44件、平成29年3.15件)と比較し2倍以上の数値を示している。

【初期消火の実施状況】

初期消火の実施状況は、全火災27件に対し、半数以上の15件(実施率56%)で、うち8件が成功(成功率53%)している。この中には、住宅用火災警報器が設置されていたため、火災の発生を早期に発見し被害が軽減された事案もあった。

消火方法の詳細は第 4 表のとおりである。

第 4 表 初期消火の実施状況

初期消火の実施状況				初期消火における消防用設備等の使用状況			
				消火器	水バケツ	布団	その他 (雪等)
有	15	成功	8	5	1	1	1
		失敗	7	4	2		1
無	12						

(2) 火災による死傷者

火災による負傷者は発生していないが、死者 1 名発生しており、これは建物火災によるものである。(前年の死傷者は建物火災 2 名、交通事故による車両火災、自損放火、着衣着火で各 1 名の 5 名)

(3) り災状況及び火災による損害額

焼損棟数は、15 棟(前年比 4 棟増)である。焼損面積については、建物焼損床面積が 1,442 ㎡(前年比 774 ㎡減)、建物焼損表面積は 14 ㎡(前年比 11 ㎡増)、損害額は、119,171 千円(前年比 43,842 千円増)となっている。(1 件調査中のため損害額は暫定額)

(4) 火災発生原因及び火災の特徴

平成 30 年の火災原因別では、コンロに起因するものが 3 件あり、いずれも使用中にその場を離れたものであった。また、ゴミ焼きや火入れもその場から離れた若しくは強風時実施し延焼拡大したものが見受けられた。

原因別火災件数は第 5 表のとおりとなっている。

第 5 表 原因別火災件数

火災原因別	平成 30 年	平成 29 年	比較
たばこ			
こんろ	3	1	2
煙突・煙道	2	2	
放火		2	△2
電気機器			
電灯・電話等の配線	2		2
配線器具		1	△1
取灰		1	△1
火入れ		1	△1
その他(ゴミ焼き等)	11	15	△4
不明・調査中	9	3	6
合 計	27	26	1

(5) 住宅用火災警報器の設置促進・維持管理

住宅用火災警報器の設置が平成 23 年 6 月から義務化となっており、平成 30 年実施のアンケート調査によると、87.6%の設置率となり、設置率は横ばいで、条例で指定している寝室等の設置を含めた正規な設置は 75.9%となっている。

寝室の設置は就寝時間帯の火災を早期に見出し、逃げ遅れによる焼死事故防止につながる。

また、奏功事例の多くは、台所に設置の住宅用火災警報器によるところが多いことから台所の設

置を推奨する。

既に設置している住警器に対し、電池切れ、取替えを含めた適切な点検、維持管理が必要であることから今後も消防団員、婦人防火クラブ等と積極的に連携し設置状況並びに適正な維持管理の広報を継続的に実施する。

3 救急出動の状況

平成 30 年中における救急出動件数は、2,081 件（前年比 36 件減）となり、1 日の平均出動件数は 5.7 回であった。不搬送（163 件）を除く救急件数は 1,918 件である。搬送人員についても 1,947 人（前年比 40 人減）と減少した。

心肺停止患者は 54 件あり、傷病者を医師へ引継ぐ前に心拍が再開した症例は 11 件（20.3%）、うち社会復帰 3 件（5.5%）となっている。

ドクターヘリを主としたヘリコプターによる救急件数は、60 件（前年比 33 件減）となり、ドクターヘリの救急件数は道央消防本部でも多く、救命率の向上に繋がっている。

救急患者の収容先については、羊蹄山ろく消防組合管内医療機関に 73.9%収容しており、中枢病院である J A 北海道厚生連倶知安厚生病院への収容比率が最も高く 71.4%となっている。

消防組合管内以外では、小樽市内の医療機関への収容が 10.4%、札幌市内の医療機関への収容が 10.4%となっており、この他の医療機関別収容先の状況は付属資料 3-2 のとおりとなっている。

（1）救急事故別出動状況

救急事故別の出動件数順は、依然として急病が最も多く 993 件（前年比 54 件増）で全出動比率の 47.7%を占めている。

次いでスキー事故を含めた一般負傷が 511 件（前年比 83 件減）、病院からの転院搬送が 318 件（前年比 30 件減）、交通事故は 174 件（前年比 26 件増）となっている。

その他の出動件数及び搬送状況又は各救急統計については、第 6 表及び付属資料 3-1 のとおりとなっている。また、救急隊を配備していない真狩村・留寿都村の救急件数については、第 7 表のとおりとなっている。



【多数傷病者事故救急救助訓練（留寿都村）】

第6表 救急隊別・救急事故別出動件数及び搬送人員

出動区分 救急隊別		火災 事故	自然災害 事故	水難 事故	交通 事故	労働災害 事故	運動競技 事故	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	その他		合 計
												転院搬送	その他	
俱知安	出動件数				59	13	5	218	2	9	392	108	3	809
	救急件数				47	13	5	206	1	7	360	108		747
	搬送人員				56	13	5	209	1	7	358	108		758
蘭越	出動件数	1		1	23	8	1	34		3	154	18		243
	救急件数				18	7	1	33		3	147	17		226
	搬送人員				20	7	1	33		3	147	17		228
二セコ	出動件数		1		29	4	1	124	2	5	200	87		453
	救急件数		1		24	4	1	121	1	3	188	85		428
	搬送人員		1		30	4	1	121	1	3	188	85		434
喜茂別	出動件数		1		35	6	5	87		4	168	21	1	328
	救急件数				22	6	4	82		3	151	21		289
	搬送人員				28	6	4	82		3	151	21		295
京極	出動件数				28	6	1	48		2	79	84		248
	救急件数				15	6	1	48		2	73	83		228
	搬送人員				19	6	1	48		2	73	83		232
合計	出動件数	1	2	1	174	37	13	511	4	23	993	318	4	2,081
	救急件数		1		126	36	12	490	2	18	919	314		1,918
	搬送人員		1		153	36	12	493	2	18	917	314	1	1,947
前年	出動件数	5	3	1	148	33	16	594	6	21	939	348	3	2,117
	救急件数	4	2	1	107	31	16	564	5	12	876	345		1,963
	搬送人員	4	2	1	126	30	18	567	5	12	877	345		1,987
増減	出動件数	△4	△1		26	4	△3	△83	△2	2	54	△30	1	△36
	救急件数	△4	△1	△1	19	5	△4	△74	△3	6	43	△31		△45
	搬送人員	△4	△1	△1	27	6	△6	△74	△3	6	40	△31	1	△40

第7表 過去3年間における救急件数（真狩・留寿都）

区分	平成28年	平成29年	平成30年
真狩	86件 (二セコ救急71件対応)	79件 (二セコ救急60件対応)	96件 (二セコ救急73件対応)
留寿都	140件 (喜茂別救急123件対応)	178件 (喜茂別救急157件対応)	207件 (喜茂別救急170件対応)

※主に真狩村への出動は二セコ救急、留寿都村への出動は喜茂別救急にて対応している。

(2) スキー・スノーボード事故傷病者の搬送状況

スキー・スノーボード事故による救急件数は254件（前シーズン比51件減）と減少に転じ、搬送人員も254人（前年比53人減）と減少となった。

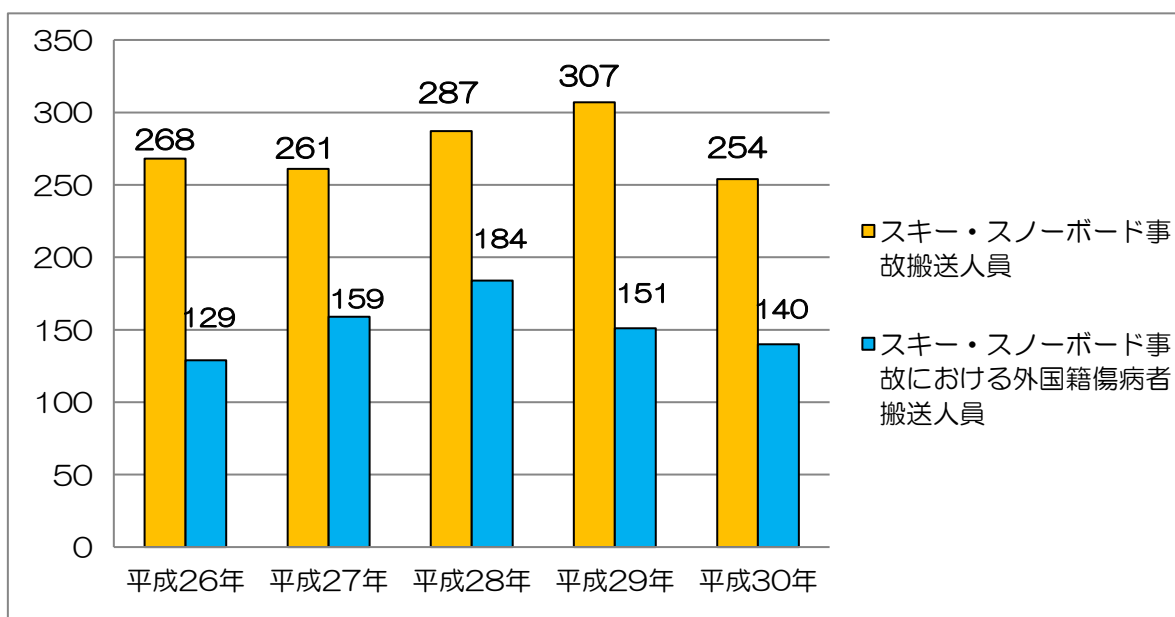
現住所別傷病者で、外国籍が140人（55.1%）で最多であり、続いて北海道外71人（28%）北海道内29人（11.4%）の順となっており、スキー・スノーボード事故の半数以上が外国籍の傷病者で占め、近年は顕著な国際化傾向となっている。一般負傷に占めるスキー・スノーボード事故負傷者の男女別及び各スキー場施設別の発生状況（シーズン別）の概要については第8表及び付属資料4-1～4-4のとおりとなっている。

なお、過去5年間における外国籍傷病者の搬送人員数の推移は第9表及び付属資料4-3のとおりである。

第8表 2017年～2018年シーズン中におけるスキー・スノーボード事故の救急搬送人員

救急隊 調査項目		倶知安	蘭越	ニセコ	喜茂別	京極	計	比率
搬送人員	男性	61	4	30	37	18	150	59.0%
	女性	36	1	39	20	8	104	41.0%
	合計	97	5	69	57	26	254	100%
スキー場別	ニセコ・グランヒラフ	85	1	13		12	111	43.7%
	ニセコピレジススキー場	6	2	23			31	12.2%
	ニセコアソフリ国際スキー場		2	21			23	9.1%
	ニセコモイワスキー場			7			7	2.7%
	ルスツリゾートスキー場	2		1	55	14	72	28.4%
	中山峠スキー場				2		2	0.8%
	バックカントリー	2		4			6	2.3%
	その他	2					2	0.8%
	合計	97	5	69	57	26	254	100%

第9表 過去5年間のスキー事故搬送者における外国籍傷病者の推移



（３）外国籍傷病者の搬送状況

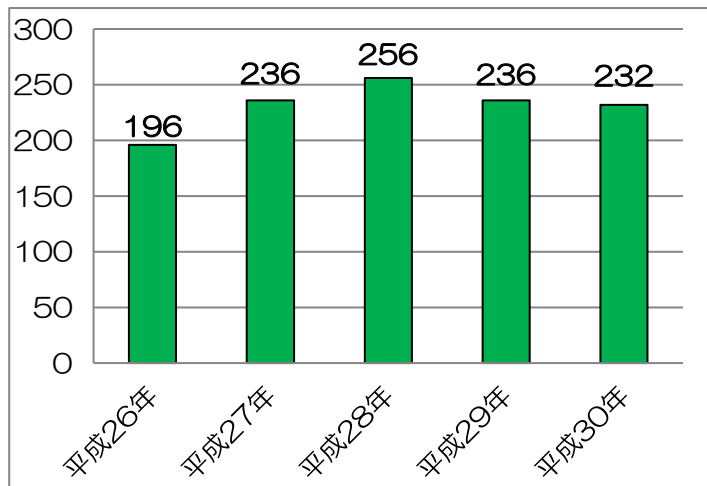
救急出動全体における外国籍傷病者の搬送人員は、232人（前年比4人減）と前年とほぼ同数となった。

国籍別でみると中華人民共和国60人（25.8%）と最も多く、次いでオーストラリア52人（22.4%）、シンガポール16名（6.8%）となっており、中華人民共和国、シンガポールを始めとするアジア圏の傷病者数の合計は123人（53.0%）と外国籍傷病者搬送人員の過半数を超えた状況である。

さらに近年、外国籍観光客等の交通事故が増加傾向となっているが、平成30年中は、外国籍傷病者17人のうちアジア圏の傷病者が15人と約9割を占めている。

過去5年間における外国籍傷病者の搬送人員数の推移は第10表のとおりである。

第10表 過去5年間の外国籍傷病者搬送の推移



4 救助出動の状況

平成30年中の救助出動は、66件発生（前年比4件増）しており前年に比べ増加に転じた。

事故種別ごとの救助出動件数では、山岳事故（登山、バックカントリー等）が21件（31.8%）と最も多く、次いで交通事故16件（24.2%）、春と秋の山菜採り遭難事故が10件（15.1%）となっており、交通事故に伴う救助出動は減少したものの、山岳事故や山菜採り遭難事故のアウトドア型事故が救助出動における約半数を占める結果となった。救助出動種別及び件数については、第11表のとおりとなっている。



【4月5日山岳事故（イワオヌプリ）】

第 11 表 事故別・所属別救助出動状況

出動区分 所属別		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自然 災害 事故	機 械 事 故	建 物 事 故	ガ ス ・ 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	山 菜 捜 索	山 岳 事 故	そ の 他	計
倶知安	出動件数		3		2		6				6	3	20
	救助者数		1		2		2				7	2	14
蘭 越	出動件数		8	1		1	1			5	2		18
	救助者数		4							4	1		9
二セコ	出動件数		1				1			2	4	1	9
	救助者数		1				1			1	2		5
真 狩	出動件数		2								3		5
	救助者数		1								3		4
留寿都	出動件数				2					2	2		6
	救助者数				1					1			2
喜茂別	出動件数		1							1	2	1	5
	救助者数		2							1	2		5
京 極	出動件数		1								2		3
	救助者数										2		2
合 計	出動件数		16	1	4	1	8			10	21	5	66
	救助者数		9		3		3			7	17	2	41
前 年	出動件数		18	1	2	3	4			13	10	11	62
	救助者数		8	1		3	1			11	8	7	39
増 減	出動件数		△2		2	△2	4			△3	11	△6	4
	救助者数		1	△1	3	△3	2			△4	9	△5	2

(注) 各救助出動件数には、非活動件数を含む。

建物事故・・・落雪による生き埋め及び建物内への閉じ込め事故など。

自然災害事故・・・自然現象（暴風、大雨、大雪、雪崩等）に起因する事故

その他・・・居住者の安否確認や徘徊者の捜索など。

(1) 山岳救助隊の発隊

近年増加傾向となっている山岳救助出動に対応すべく、より専門的な知識・技術を有した「羊蹄山ろく消防組合山岳救助隊」を平成 30 年 4 月から発隊し、これにより通年での災害対応が可能となり山岳救助体制の充実強化が図られている。



【山岳救助訓練（山岳救助隊）】

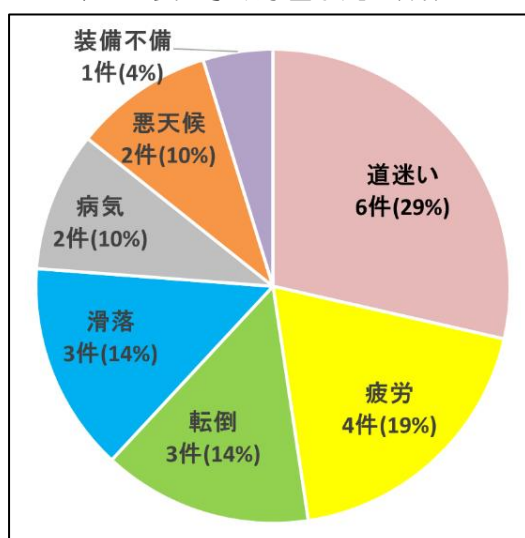
(2) 山岳救助（遭難）出動

夏山登山及び冬山でのバックカントリーによる救助・遭難事案は21件発生しており、統計開始後、過去最多となった。近年の登山、バックカントリーブームによりアウトドア型事故が増加傾向となっており、個人装備不備、体力不足等に起因する事故が多いのが特徴となる。なお、事故原因別発生件数は第12表のとおりである。

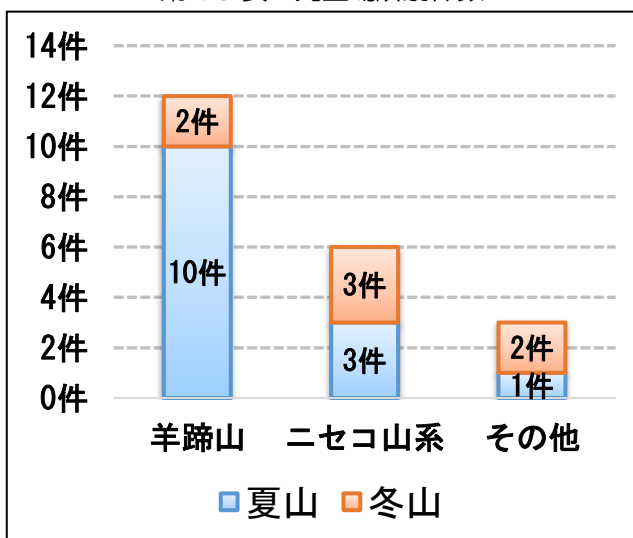
また、発生場所別にみると日本百名山である羊蹄山での事故が12件（夏山10件・冬山2件）と半数を占め、次いでニセコ山系（イワオヌプリ、アンヌプリ、前目国内岳）6件となっている。（第13表参照）

3月19日には、羊蹄山において単独で登山中に滑落し1名死亡している。（付属資料5-1、5-2、5-3）

第12表 事故原因別発生件数



第13表 発生場所別件数



注：夏山（6月～10月）／冬山（11月～5月）

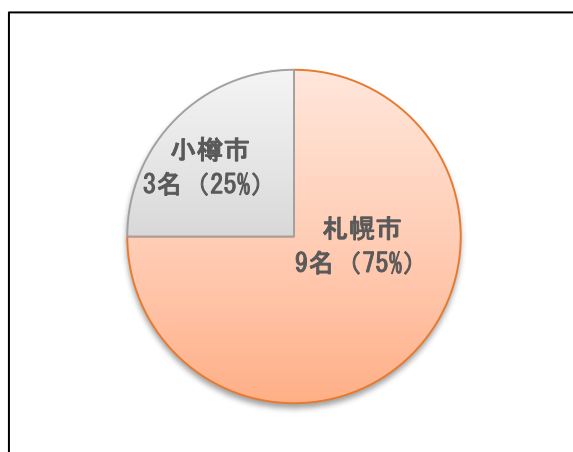
(3) 山菜採り行方不明者搜索出動

春・秋の山菜採り行方不明者の搜索出動は、10件発生（前年比3件減）と前年に比べ減少となった。住所別にみると行方不明者は、小樽市、札幌市といった組合管外からの者であり、携帯電話未所持、地図やGPSなどの未携帯等、安易な装備での入林者が後を絶たない状況である。（第14表）

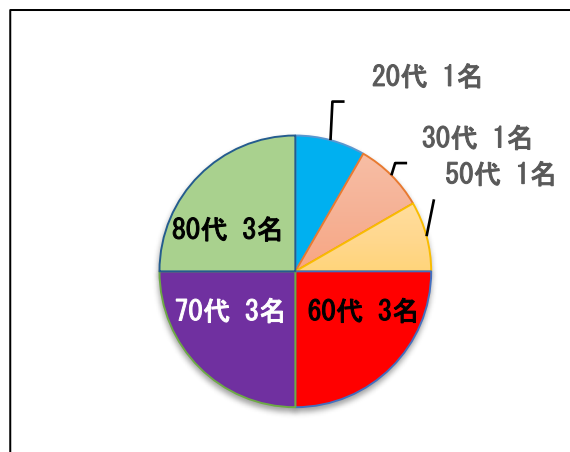
また、年代別では、60歳代～80歳代が各3名と最も多く、65歳以上の高齢者が75%を占めている。（第15表）

山菜採り行方不明者搜索出動の詳細並びに過去10年間の発生状況は、付属資料5-4、5-5のとおりとなっている。

第14表 住所別行方不明者内訳



第15表 年代別行方不明者内訳



5 応援出動状況

応援出動とは、組合管轄外への出動のことであり、平成30年は4件（前年比2件増）発生している。中でも、9月6日に発生した「平成30年北海道胆振東部地震」では、甚大な被害が発生した厚真町へ北海道広域消防相互応援協定第1次派遣隊として発災当日に後方支援隊員2名・車両1台を派遣し、9月8日まで救助部隊の支援活動を実施した。



【救助活動現場（厚真町）※小樽市消防本部提供】【北海道応援隊宿营地（厚真スタジアム）】

6 その他の災害出動状況

警戒出動は、64件発生（前年比6件増）しており、主な出動としては、火災とまぎらわしい揚煙等による出動や自動火災報知設備等の作動による出動となっている。

水防出動は16件発生しており、うち12件は7月に全国的に被害が発生した「平成30年7月豪雨」に関連した災害となり、組合管内も浸水危険又は被害に伴うものである。

危険排除出動は、44件（前年比53件減）と前年に比べ減少しているものの、9



【9月5日台風21号による建物倒壊（倶知安町）】

月5日に発生した台風21号災害では、倒木等による交通障害、トタン屋根の剥離、建物の倒壊等が短時間に14件発生するなど水防出動同様、自然災害による出動が毎年のように発生している。

支援出動は、125件発生（前年比7件増）しており、ドクターヘリ等のヘリコプター離着陸支援出動や交通事故等における救急支援出動が主となっている。

7 ヘリコプターの要請状況

ヘリコプターの出動要請件数については、76件（前年比17件減）と前年に比べ減少した。主に救急患者の搬送を目的としたドクターヘリなどの要請は、道央圏消防本部の中でも多く60件となった。出動要請区分別では、救急現場からドクターヘリ等への現場出動要請が55件と最も多く、病院間搬送要請が8件となっている。

また、救助等により北海道消防防災ヘリ及び札幌市消防局ヘリの要請16件のうち2件は天候不良等により非出動となっている。主な要請は、山岳救助出動や山菜採り行方不明者の捜索に伴うものである。

これら、町村別（所属別）のヘリコプター要請の詳細は付属資料6のとおりとなっている。

8 災害通報受付

(1) 指令センター119番受付状況

平成30年の119番通報受付件数は3,677件であり、これは1日あたりの受付件数は、約10件となり、管内（約34,700人）の住民約1割が通報したことになります。（第16表参照）

第16表 119番受付月別・種別一覧

（単位：件）

月	火災	救急	警戒	救助	試験	その他	合計
1月	1	238	10	3	40	45	337
2月	3	246	9	9	47	50	364
3月	5	196	21	7	83	54	366
4月	3	107	14	2	53	8	187
5月	5	130	8		98	31	272
6月	2	130	13	18	91	48	302
7月	1	168	26	6	50	38	289
8月	7	156	14	8	39	43	267
9月	6	152	30	2	92	41	324
10月	1	138	12	7	128	27	313
11月	3	112	5	5	125	16	266
12月	5	206	10	8	107	54	390
合計	42	1,979	172	75	953	455	3,677

※試験とは、火災通報装置訓練・出動訓練など

※その他とは、いたずら・間違い・近隣消防本部への転送など

(2) 外国語による119番受付状況

外国人による119番通報は、年々増加しており対応に苦慮している。当組合では、各町村の外国語が堪能な役場職員及び消防団員に外国語通訳サポーターとして依頼、高機能消防指令システムの機能を使用し、指令員と通報者及び通訳者の3者で同時に会話することで状況を把握し災害対応している。

第17表 外国語による119番受付状況

（単位：件）

年	火災	救急	警戒	救助	その他	合計
平成26年		7				7
平成27年		12		3	9	33
平成28年		10		1	10	21
平成29年		11	1	1	14	27
平成30年		15	2		41	58

※その他とは、病院照会・いたずら・間違い・近隣消防本部への転送など

(3) 口頭指導実施状況

住民からの救急要請を入電した場合、出動を指令するとともに救急車が現場到着するまでの間、通報者からの通報内容を聴取し、気道の確保や胸骨圧迫など症状に応じた口頭指導を行っている。平成30年は、総件数68件であり、「心臓マッサージ」が29件、「止血処置」が29件、「状態管理」（幹部の冷却、気道確保、体位管理や適切な場所への移動）が6件、「AED」が4件などとなっている。

また、火災時の初期消火及び避難誘導の指導も3件実施している。

9 消防団員の出動概要

(1) 消防団員の出動状況

消防団員が災害出動件数は、13 件（前年比 21 件減）であり、出動人員は 219 人（前年比 151 人減）と前年より減少した。（第 18 表参照）

また、消防団員の火災出動状況は、総火災件数 27 件のうち、9 件の火災に出動している。（第 19 表参照）

第 18 表 消防団別出動件数及び出動人員

種別 消防団	火 災	水 防	救 助	警 戒	支 援	危険排除	合 計
倶知安	3 件 (106 人)						3 件 (106 人)
蘭越	2 件 (11 人)		1 件 (20 人)				3 件 (31 人)
二セコ	2 件 (32 人)						2 件 (32 人)
真狩							
留寿都	2 件 (57 人)						2 件 (57 人)
喜茂別			2 件 (7 人)				2 件 (7 人)
京極		1 件 (2 人)					1 件 (2 人)
合計	9 件 (206 人)	1 件 (2 人)	3 件 (27 人)				13 件 (235 人)

※救助出動には、山菜採り等行方不明者の搜索出動を含む

第 19 表 過去 5 年間の火災における消防団員の出動状況

年	火災件数	出動回数（回）	出動人員（人）
平成 26 年	30	8	80
平成 27 年	29	10	150
平成 28 年	25	14	253
平成 29 年	26	8	212
平成 30 年	27	9	206

【 付 属 資 料 】

- | | | |
|---|---|--------|
| 1 | 災害出動状況総括表（町村別） | 資料 1－1 |
| | 災害出動状況総括表（月別） | 資料 1－2 |
| 2 | 火災発生一覧 | 資料 2 |
| 3 | 救急出動状況総括表（救急隊・消防隊別） | 資料 3－1 |
| | 搬送先医療機関一覧表 | 資料 3－2 |
| 4 | スキー・スノーボード事故者救急搬送集計表（患者及びスキー場等情報） | 資料 4－1 |
| | スキー・スノーボード事故者救急搬送集計表（月別救急件数及び搬送人員） | 資料 4－2 |
| | スキー・スノーボード事故者救急搬送集計表（現住所別搬送人員） | 資料 4－3 |
| | スキー・スノーボード等事故者救急搬送人員調（平成 7 年～平成 28 年シーズン） | 資料 4－4 |
| 5 | 山岳救助出動件数（平成 26 年～平成 29 年） | 資料 5－1 |
| | 水難救助出動件数（平成 26 年～平成 29 年） | 資料 5－2 |
| | 山岳・水難救助出動状況 | 資料 5－3 |
| | 山菜採り行方不明者搜索出動件数（平成 21 年～平成 30 年） | 資料 5－4 |
| | 山菜採り行方不明者搜索出動状況（詳細） | 資料 5－5 |
| 6 | ヘリコプター要請・活動出動件数 | 資料 6 |

平成30年 災害出動状況総括表(町村別)

羊蹄山ろく消防組合

区分 町村別		出 動 総 件 数	火 災 出 動															救 助			警戒出動				調 査 出 動	その他		人 員							
			火 災 出 動	建 物 火 災						爆 発 火 災	車 両 火 災	林 野 火 災	そ の 他	死 者	負 傷 者	罹災状況			焼損面積			損害額	救 助	・多 数傷 病者 救 助急		捜 索	警 戒	水 防	危 険 排 除	支 援	特 殊 災 害	応 援	職 員	団 員	
				ぼ や	部 分 焼	半 焼	全 焼	建 物 計	延 焼 棟							焼 損 棟	人 員	世 帯 数	建物焼損面積 (㎡)		林野 (a)														その他 (㎡)
																			床面積	表面積															
倶知安	本年	156	7	2	1	2	5	1	2					6	7	3	452.24				65,824	18	1	1	31	4	32	59	2		1	760	106		
	前年	183	9	2	1	1	2	6	2	2		1		3	6	7	5	801.91	0.26			39,617	17		3	24	1	56	71		2	914	230		
蘭 越	本年	46	6	2	2		4					2		3	6	2	23.61	13.46		138.20	5,036	12	1	5	4	4	2	12			314	31			
	前年	52	1									1	1									4	1	5	9	11	11	10			300	32			
二セコ	本年	46	9	2	1		1	4		1		4	1		4	6	3	204.80			604.30	297	6		3	15	2	1	9		1	340	32		
	前年	29	6	1			1			1		4			1	1	1		0.18		9,378	353	4		1	5	1	3	9			181			
真 狩	本年	22	1				1	1						1			558.90				36,956	4	1		3	1	2	10			116				
	前年	24	3				1	1		1		1			1			202.92			1,580	4,642	4		1	5		7	4		143	32			
留寿都	本年	18	3		1		1	2				1			1			202.90			50.40	10,980	4		2				9			130	57		
	前年	32	3	1		1	2					1			2	3	1	1210.87			285	29,305	6		1	5		11	6			158	25		
喜茂別	本年	40	1									1									78	3	1	1	10		5	17			2	190	7		
	前年	46	2		1			1				1			1	1	1		1.122			8	5	3	5	8		8	14	1		273	50		
京 極	本年	20																				2	1		1	5	2	9				110	2		
	前年	15	2							1		1		2							1,404	1		1	2	4	1	4				70	1		
本年計		348	27	4	6	1	5	16	1	3		8	1		15	19	8	1442.45	13.455		792.90	119,171	49	5	12	64	16	44	125	2	4	1,960	235		
前年計		381	26	4	2	2	3	11	2	5		10	1	5	11	12	8	2215.70	1.562		11,243	75,329	41	4	17	58	17	97	118	1	2	2,039	370		

※二セコ町の火災による損害額は、調査中(1件)のため暫定値(平成31年2月末日現在)

平成30年 災害出動状況総括表(月別)

資料1-2

羊蹄山ろく消防組合

区 分 月 別		出 動 総 件 数	火 災 出 動																救 助			警戒出動					調 査 出 動	その他		人 員					
			火 災 出 動	建 物 火 災					爆 発 火 災	車 両 火 災	林 野 火 災	そ の 他	死 者	負 傷 者	罹災状況			焼損面積			損害額 (千円)	救 助 人 数	多 数 傷 病 者 救 助 急 救 索	警 戒	水 防	危 険 排 除		支 援	特 殊 災 害	応 援	職 員	団 員			
				ぼ や	部 分 焼	半 焼	全 焼	建 物 計							延 焼 棟	焼 損 棟	人 員	世 帯 数	建物焼損面積 (㎡)														林野 (a)	その他 (㎡)	
																			床面積	表面積															
1月	本年	14	2			1		1				1				1			81.90				38,313	2			5		1	3			1	104	20
	前年	17	4	2			1	3			1				3	4	2	177.48	0.26				28,915	3			3		1	5			1	130	32
2月	本年	34	3			3		3						3	4	2	25	7.31				1,487	4	1	1	4		3		18			184	21	
	前年	10																				2			3				5				30		
3月	本年	38	2				2	2	1						3	4	1	383				31,274	6	1		7	1	8	13				194	67	
	前年	19	1			1		1							1			1210.42				29,290				5		1	12				80	25	
4月	本年	20	3							1		2									523	983	2			9	1	2	3				121		
	前年	84	5			1	2	3	2			2		2	3	4	2	804.98			383	14,063	3			6	1	62	7				386	182	
5月	本年	17	4			1		1	2			2			2	1	1	203.48	5.90		146	6,561				4		3	5	1			142	50	
	前年	33	5							2		3									10,408	972	3		1	3		4	17			191			
6月	本年	39	1							1											301	8	1	10	3		2	14				232	1		
	前年	29	1									1										4		10	5	1	2	6				214	44		
7月	本年	38	1	1				1							1	4	1	0.63	0.25			267	6				12	1	18				183	6	
	前年	28	1							1				1							1,404	3		2	5	1	3	13				135			
8月	本年	34	3			1			1			2			1			2.44			13	2,414	7	1		9		3	11				212	6	
	前年	31	3			1			1		1				1	1	1	22.82			452	583	3		1	6		4	14			164	47		
9月	本年	45	3	1	1			2				1						4.90			111	257	3			9	2	16	9	1		2	218	26	
	前年	51																				4		2	5	13	14	13				256	33		
10月	本年	22	1	1				1							1	3	1	0.42				52	3		1	2		2	13				132	20	
	前年	29	2	1	1			2							2	2	2		1.30			102	6	1	1	4		3	11	1			174	7	
11月	本年	17	1							1												300	2	1		3			10				114		
	前年	29	3									3	1	2									5	1		8	1	1	9			1	151		
12月	本年	30	3	1			2	3					1		3	3	2	740.71				36,962	6			9		3	8			1	124	18	
	前年	21	1	1				1							1	1	1						5	2		5		2	6				128		
本年累計		348	27	4	6	1	5	16	1		3		8	1		15	19	8	1,442	13.455		792.90	119,171	49	5	12	64	16	44	125	2		4	1,960	235
前年累計		381	26	4	2	2	3	11	2		5		10	1	5	11	12	8	2,215.70	1.56		11,243	75,329	41	4	17	58	17	97	118	1		2	2,039	370
比 較		△ 33	1		4	△ 1	2	5	△ 1		△ 2		△ 2		△ 5	4	7		△ 773.25	11.89		△ 10,450	43,842	8	1	△ 5	6	△ 1	△ 53	7	1		2	△ 79	△ 135

※12月火災による損害額は、調査中(1件)のため暫定値(平成31年2月末日現在)

平成30年火災発生一覧表

資料2

番号	発生日	曜日	発災町村	形態	火災種別	焼損程度	焼損床面積(m ²)	焼損表面積(m ²)	林野焼損面積(a)	その他焼損面積(a)	罹災人員	罹災世帯	焼損棟数	延焼棟	負傷者	死者	損害額(千円)	出火原因	状況	初期消火	成功	出動人員	
																						職員	団員
1	1/13	土	俱知安町	簡易宿所	建物火災	半焼	81.90						1				38,235	不明	簡易宿舎のうち2階部分を焼損したもの。			31	20
2	1/26	金	喜茂別町	施設備品	その他火災	—	—	—	—	—							78	不明	屋外に設置の電光掲示板より出火、パネル上部基盤及びカバーを焼損したもの。	有	○	4	
3	2/1	木	蘭越町	一般住宅	建物火災	部分焼		7.31			2	1	1				718	煙突接続部等の不良	2階居間に設置した薪ストーブの煙突周辺から出火し、付近の壁を焼損したもの。	有	×	19	7
4	2/5	月	ニセコ町	倉庫	建物火災	部分焼	22.57						1				228	暖房器具から燃料漏えい	倉庫から出火、内部を焼損したもの。	有	×	20	14
5	2/10	土	俱知安町	一般住宅	建物火災	部分焼	2.00				2	1	1				541	水道凍結防止帯密巻による過熱	一般住宅の床下から出火、付近の床材及びユニットバスの一部を焼損したもの。	有	○	2	
6	3/28	水	俱知安町	仮設宿舎	建物火災	全焼	185.40				4	1	2	1			22,727	不明	仮設宿舎の1階、2階の内部全焼、隣接する仮設トイレの床の一部を焼損したもの。	有	×	27	36
7	3/29	木	留寿都村	倉庫	建物火災	全焼	198.00						1				8,547	不明	農機具を保管しているD型倉庫の内部を全焼したもの。			15	31
8	4/25	水	蘭越町	ゴミ焼き	その他火災	—				0.455								ゴミ焼き	ゴミ焼きをしていたところ水田の法面の枯れ草及び笹数を焼損したもの。			11	
9	4/30	月	ニセコ町	原野	その他火災	—				4.772								アスパラ枯茎焼き	アスパラの枯茎焼き中に炎が風にあおられ、隣接原野の枯草及び笹に延焼したもの。			14	
10	4/30	月	ニセコ町	4tダンプ	車両火災	—	—	—	—	—							983	ブレーキ摩擦	4tダンプが走行中に左後輪付近から出火したもの。	有	○	9	
11	5/1	火	蘭越町	ゴミ焼き	その他火災	—				0.927								ゴミ焼き	家庭ゴミ処分のため焼却中、付近笹数に延焼したもの。	有	×	16	
12	5/15	火	俱知安町	一般住宅	建物火災	全焼	180.50				1	1	1				3,682	不明	一般住宅の内部を全焼したもの。			33	50
13	5/16	水	蘭越町	ホテル	建物火災	部分焼	22.98	5.895					1				2,868	空焚き	ホテル1階厨房から出火し、厨房及び小屋裏の一部を焼損したもの。	有	○	18	
14	5/21	月	ニセコ町	ゴミ焼き	その他火災	—				0.536							11	ゴミ焼き	家庭ゴミ処分のため焼却中、付近の木材等に延焼したもの。	有	×	16	
15	6/23	土	俱知安町	乗用車	車両火災	—	—	—	—	—							301	不明	乗用車が路外逸脱し焼損したもの。			7	
16	7/22	日	蘭越町	一般住宅	建物火災	ぼや	0.625	0.25			4	1	1				267	調理鍋	一般住宅1階台所から出火、内部を焼損したもの。	有	○	8	4
17	8/2	木	ニセコ町	ゴミ焼き	その他火災	—				0.134								ゴミ焼き	物置として使用していた廃車が焼損したもの。	有	×	5	
18	8/15	水	留寿都村	変電設備	その他火災	—											2,376	高圧電線の絶縁不良	電柱上部の電線被覆と建物横に設置しているキュービクル変電設備が焼損したもの。	有	○	9	
19	8/28	火	俱知安町	寄宿舍	建物火災	部分焼	2.44						1				38	調理鍋	1階厨房ガスコンロ周辺を焼損したもの。			4	
20	9/8	土	ニセコ町	道路路肩	その他火災	—				0.601								不明	道路路肩、幅1m×長さ35mの範囲の枯草を焼損したもの。			9	

平成30年火災発生一覧表

資料2

番号	発生日	曜日	発災町村	形態	火災種別	焼損程度	焼損床面積(m ²)	焼損表面積(m ²)	林野焼損面積(a)	その他焼損面積(a)	罹災人員	罹災世帯	焼損棟数	延焼棟	負傷者	死者	損害額(千円)	出火原因	状況	初期消火	成功	出動人員	
																						職員	団員
21	9/21	金	留寿都村	木材工場	建物火災	部分焼	4.90			0.504							57	ガス溶断機の火花	木材工場内の加工機及びベルトコンベア等を焼損したもの。			16	26
22	9/27	土	蘭越町	モミ乾燥機	建物火災	ぼや											200	不明	モミ乾燥機を焼損したもの。			3	
23	10/13	土	二セコ町	一般住宅	建物火災	ぼや	0.42				3	1	1				52	煙突離隔距離不足	屋根裏煙突貫通部付近が焼損したもの。	有	×	25	
24	11/14	水	倶知安町	乗用車	車両火災	—											300	配線過電流	停車中の乗用車内のインパネ部分が焼損したもの。	有	○	10	
25	12/14	金	真狩村	倉庫	建物火災	全焼	558.90						1				36,956	暖房器具ガソリン混入	トタン張り平屋倉庫の内部を焼損したもの。			16	
26	12/14	金	二セコ町	店舗併用住宅	建物火災	ぼや	0.31				1	1	1				6	炭火	飲食店厨房換気扇付近から出火、内部を焼損したもの。	有	○	14	
27	12/27	木	二セコ町	一般住宅	建物火災	全焼	181.50				2	1	1			1	調査中	調査中	一般住宅が全焼したもの。			25	18
合計							1,442.445	13.455		7.929	19	8	15	1		1	119,171					386	206

平成30年救急出動状況総括表(救急隊・消防隊別)

資料3-1

出動区分 救急隊・消防隊別			救 急 事 故 種 別																
			合 計	不 搬 送	救 急 件 搬 送 + 送	火 災 事 故	自 然 災 害 事 故	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害 事 故	運 動 競 技 事 故	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
																転 院 搬 送	医 師・ 看 護 師	医 療 資 材	そ の 他
俱知安	本年	出動件数	809						59	13	5	218	2	9	392	108			3
		救急件数	747	62	809				47	13	5	206	1	7	360	108			
		搬送人員	758						56	13	5	209	1	7	358	108			1
	前年	出動件数	869			2	2	1	52	14	5	238	2	10	409	132	2		
		救急件数	810	59	869	2	1	1	44	14	5	227	1	8	376	131			
		搬送人員	821			2	1	1	52	14	6	229	1	8	376	131			
蘭越	本年	出動件数	243			1		1	23	8	1	34		3	154	18			
		救急件数	226	17	243				18	7	1	33		3	147	17			
		搬送人員	228						20	7	1	33		3	147	17			
	前年	出動件数	220						16	2	2	47	2	4	130	17			
		救急件数	203	17	220				13	1	2	43	2	2	123	17			
		搬送人員	204						14	1	2	43	2	2	123	17			
二七コ	本年	出動件数	453				1		29	4	1	124	2	5	200	87			
		救急件数	428	25	453		1		24	4	1	121	1	3	188	85			
		搬送人員	434				1		30	4	1	121	1	3	188	85			
	前年	出動件数	450				1		24	4	5	150	2	2	175	86			1
		救急件数	425	25	450		1		17	3	5	144	2		169	84			
		搬送人員	429				1		20	3	6	144	2		169	84			
喜茂別	本年	出動件数	328				1		35	6	5	87		4	168	21			1
		救急件数	289	39	328				22	6	4	82		3	151	21			
		搬送人員	295						28	6	4	82		3	151	21			
	前年	出動件数	324			2			32	10	3	115		4	140	18			
		救急件数	288	36	324	1			18	10	3	109		2	127	18			
		搬送人員	294			1			23	9	3	110		2	128	18			
京極	本年	出動件数	248						28	6	1	48		2	79	84			
		救急件数	228	20	248				15	6	1	48		2	73	83			
		搬送人員	232						19	6	1	48		2	73	83			
	前年	出動件数	254			1			24	3	1	44		1	85	95			
		救急件数	237	17	254	1			15	3	1	41			81	95			
		搬送人員	239			1			17	3	1	41			81	95			
真狩消防隊	本年	出動件数																	
		救急件数																	
		搬送人員																	
	前年	出動件数																	
		救急件数																	
		搬送人員																	
留寿都消防隊	本年	出動件数																	
		救急件数																	
		搬送人員																	
	前年	出動件数																	
		救急件数																	
		搬送人員																	
合 計	本年	出動件数	2,081			1	2	1	174	37	13	511	4	23	993	318			4
		救急件数	1,918	163	2,081		1		126	36	12	490	2	18	919	314			
		搬送人員	1,947				1		153	36	12	493	2	18	917	314			1
	前年	出動件数	2,117			5	3	1	148	33	16	594	6	21	939	348	2		1
		救急件数	1,963	154	2,117	4	2	1	107	31	16	564	5	12	876	345			
		搬送人員	1,987			4	2	1	126	30	18	567	5	12	877	345			
増 減		出動件数	△ 36			△ 4	△ 1		26	4	△ 3	△ 83	△ 2	2	54	△ 30	△ 2		3
		救急件数	△ 45	9	△ 36	△ 4	△ 1	△ 1	19	5	△ 4	△ 74	△ 3	6	43	△ 31			
		搬送人員	△ 40			△ 4	△ 1	△ 1	27	6	△ 6	△ 74	△ 3	6	40	△ 31			1

資料 3-2

区 分 搬送先等		救急隊別															合 計		
		俱知安救急		蘭越救急		ニセコ救急		喜茂別救急		京極救急		真狩消防隊		留寿都消防隊					
		救件数	搬送人員	救件数	搬送人員	救件数	搬送人員	救件数	搬送人員	救件数	搬送人員	救件数	搬送人員	救件数	搬送人員	救件数	搬送人員	搬送比率	
消防組合管内	俱知安厚生病院	562	573	170	172	300	304	217	221	124	127						1,373	1,397	71.4%
	植田整形外科医院																		
	さとう内科医院	1	1														1	1	0.1%
	伊藤歯科医院																		
	くとさん外科胃腸科	1	1														1	1	0.1%
	中川クリニック																		
	しりべし耳鼻咽喉科																		
	東眼科					1	1										1	1	0.1%
	ようてい小児科クリニック																		
	ほくよう歯科クリニック																		
	中川歯科医院																		
	ニセコ脳神経外科	16	16	8	8	7	8	9	10	1	1						41	43	2.2%
	ニセコ・インターナショナル・クリニック	3	3														3	3	0.2%
	蘭越診療所			1	1												1	1	0.1%
	昆布温泉病院																		
	ニセコ医院	2	2			2	2										4	4	0.2%
	喜茂別町立クリニック							5	5								5	5	0.3%
	ひまわりクリニックきょうごく							4	4	7	7						11	11	0.6%
	羊蹄グリーン病院																		
	野の花診療所																		
留寿都診療所							1	1								1	1	0.1%	
昆布診療所			1	1												1	1	0.1%	
	小計	585	596	180	182	310	315	236	241	132	135					1,443	1,469	75.1%	
後志管内	岩内協会病院	1	1	10	10												11	11	0.6%
	余市協会病院	1	1			1	1										2	2	0.1%
	小計	2	2	10	10	1	1									13	13	0.7%	
小樽市内	小樽市立病院	61	61	19	19	52	53	6	6	29	29						167	168	8.6%
	小樽協会病院	2	2			2	2			1	1						5	5	0.3%
	小樽中央病院(旧小樽脳・循環器病院)	9	9	2	2	4	4	1	1	2	2						18	18	0.9%
	小樽掖済会病院	3	3	1	1	1	1			1	1						6	6	0.3%
	済生会小樽病院	4	4	1	1	1	1			1	1						7	7	0.4%
	小計	79	79	23	23	60	61	7	7	34	34					203	204	10.4%	
札幌市内	札幌医大附属病院	1	1			2	2	2	2	1	1						6	6	0.3%
	北海道大学附属病院					3	3			2	2						5	5	0.3%
	市立札幌病院	4	4			2	2	3	3	3	3						12	12	0.6%
	札幌医師会夜間急病センター																		
	手稲溪仁会病院	1	1			5	5			10	10						16	1	

区 分 搬送先等		救急隊別														合 計		
		倶知安救急		蘭越救急		ニセコ救急		喜茂別救急		京極救急		真狩消防隊		留寿都消防隊				
		救 急 件 数	搬 送 人 員	救 急 件 数	搬 送 人 員	救 急 件 数	搬 送 人 員	救 急 件 数	搬 送 人 員	救 急 件 数	搬 送 人 員	救 急 件 数	搬 送 人 員	救 急 件 数	搬 送 人 員	救 急 件 数	搬 送 人 員	搬 送 比 率
札幌市内	札幌徳州会病院	4	4					1	1	4	4					9	9	0.5%
	五輪橋整形外科病院							1	1							1	1	0.1%
	北海道医療センター	1	1			2	2	1	1							4	4	0.2%
	札幌北楡病院									1	2					1	2	0.1%
	札幌中央病院							1	1							1	1	0.1%
	札幌清田整形外科病院							1	1							1	1	0.1%
	晴生会さっぽろ南病院							1	1							1	1	0.1%
	五輪橋内科病院							1	1							1	1	0.1%
	札幌循環器病院					1	1									1	1	0.1%
	札幌白石記念病院					5	5	1	1							6	6	0.3%
	恵佑会第二病院									2	2					2	2	0.1%
	JCHO北海道病院	2	2			1	1	1	1	2	2					6	6	0.3%
	札幌太田病院	1	1													1	1	0.1%
	華岡青洲記念心臓血管クリニック	9	9	1	1	2	2	1	1	5	5					18	18	0.9%
	北新東病院							1	1							1	1	0.1%
	八木整形外科病院	1	1													1	1	0.1%
	平松記念病院							1	1							1	1	0.1%
小計		57	57	7	7	45	45	37	37	57	58					203	204	10.4%
その他の市町村	洞爺温泉病院					1	1	1	1							2	2	0.1%
	伊達日赤病院							1	1							1	1	0.1%
	洞爺協会病院							1	1							1	1	0.1%
	えにわ病院									1	1					1	1	0.1%
	製鉄記念室蘭病院							1	1							1	1	0.1%
	いぶり腎泌尿器科クリニック							1	1							1	1	0.1%
	王子総合病院							1	1							1	1	0.1%
	乙部町国民健康保険病院					1	1									1	1	0.1%
	小計						2	2	6	6	1	1					9	9
その他（病院外）	防災ヘリ	3	3					1	1	1	1					5	5	0.3%
	札幌消ヘリ																	
	ドクターヘリ(町内HP)	17	17	3	3	1	1	1	1	2	2					24	24	1.2%
	〃（町外HP）	1	1	3	3	9	9	2	2	1	1					16	16	0.8%
	〃（管外HP）	3	3													3	3	0.2%
	その他(他救急車・警察署等)																	
	小計		24	24	6	6	10	10	4	4	4	4					48	48
その他	医師・看護師搬送																	
	その他(救命士搬送)	7	7							2	2					9	9	0.5%
	その他																	
	小計		7	7							2	2					9	9
合 計		754	765	226	228	428	434	290	295	230	234					1,928	1,956	100.0%

スキー・スノーボード事故者救急搬送集計表(患者及びスキー場等情報)

羊蹄山ろく消防組合

最初の出動 平成29年11月27日

最後の出動 平成30年 5月 6日

救急隊名		倶 知 安		蘭 越		ニ セ コ		喜 茂 別		京 極		小 計		合 計	割 合 (%)
		ス キ ー (人)	ボ ー ド (人)	ス キ ー (人)	ボ ー ド (人)	ス キ ー (人)	ボ ー ド (人)	ス キ ー (人)	ボ ー ド (人)	ス キ ー (人)	ボ ー ド (人)	ス キ ー (人)	ボ ー ド (人)		
調査項目		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
搬 送 人 員	男 性	38	23	2	2	21	9	23	14	9	9	93	57	150	59.1%
	女 性	26	10	1		27	12	13	7	2	6	69	35	104	40.9%
	合 計	64	33	3	2	48	21	36	21	11	15	162	92	254	100%
年 令 区 分	10歳未満	4				2		5				11		11	4.3%
	10才以上～20歳未満	8	3			6	4	4	4	4	2	22	13	35	13.8%
	20歳以上～30歳未満	11	14	1	2	7	4	4	8	2	8	25	36	61	24.0%
	30歳以上～40歳未満	7	12	1		6	8	3	4	3	5	20	29	49	19.3%
	40歳以上	34	4	1		27	5	20	5	2		84	14	98	38.6%
	合 計	64	33	3	2	48	21	36	21	11	15	162	92	254	100%
ス キ ー 場 別	ニセコ・グランヒラフ	55	30	1		7	6			5	7	68	43	111	43.7%
	ニセコビレッジスキー場	4	2	1	1	19	4					24	7	31	12.2%
	ニセコアンヌプリ国際スキー場			1	1	16	5					17	6	23	9.1%
	ニセコモイワスキー場					4	3					4	3	7	2.8%
	ニセコ連峰チセヌプリスキー場														
	ルスツリゾートスキー場	2				1		35	20	6	8	44	28	72	28.3%
	中山峠スキー場							1	1			1	1	2	0.8%
	バックカントリー	1	1			1	3					2	4	6	2.4%
	そ の 他	2										2		2	0.8%
	合 計	64	33	3	2	48	21	36	21	11	15	162	92	254	100%
負 傷 原 因	転 倒	46	15	2	1	41	12	32	8	8	8	129	44	173	68.1%
	衝 突	15	11		1	4	5	4	7	1	2	24	26	50	19.7%
	ジ ャ ン プ	1	7	1		1	2		4	1	2	4	15	19	7.5%
	不 明	1							1			1	1	2	0.8%
	そ の 他	1				2	2		1	1	3	4	6	10	3.9%
	合 計	64	33	3	2	48	21	36	21	11	15	162	92	254	100%
負 傷 し た 時 間 帯	午 前	24	15	1	2	14	7	12	9	6	3	57	36	93	36.6%
	午 後	32	12			20	10	20	5	5	10	77	37	114	44.9%
	ナ イ タ ー	8	6	2		14	4	4	7		2	28	19	47	18.5%
	合 計	64	33	3	2	48	21	36	21	11	15	162	92	254	100%

スキー・スノーボード事故者救急搬送集計表(月別救急件数及び搬送人員)

羊蹄山ろく消防組合

救急隊名 月別		倶 知 安		蘭		越		ニ		セ		コ		喜 茂 別		京		極		合 計				総合計		搬送人員割合（％）		
		スキー	ボード	スキー	ボード	スキー	ボード	スキー	ボード	スキー	ボード	スキー	ボード	スキー	ボード	スキー	ボード	スキー	ボード	スキー	ボード							
年	月	救急件数 (件)	搬送人員 (人)	救急件数 (件)	搬送人員 (人)	救急件数 (件)	搬送人員 (人)	救急件数 (件)	搬送人員 (人)	救急件数 (件)	搬送人員 (人)	救急件数 (件)	搬送人員 (人)	救急件数 (件)	搬送人員 (人)	救急件数 (件)	搬送人員 (人)	救急件数 (件)	搬送人員 (人)	救急件数 (件)	搬送人員 (人)	救急件数 (件)	搬送人員 (人)	救急件数 (件)	搬送人員 (人)			
29	11	1	1			1	1													2	2			2	2	0.8%		
29	12	16	16	6	6			1	1	10	10	3	3	5	5	3	3	1	1	1	1	32	32	14	14	46	46	18.1%
30	1	13	13	6	6	1	1			15	15	3	3	7	7	5	5	3	3	5	5	39	39	19	19	58	58	22.8%
30	2	22	22	10	10	1	1			13	13	10	10	7	7	8	8	4	4	5	5	47	47	33	33	80	80	31.5%
30	3	9	9	7	7			1	1	9	9	5	5	14	14	4	4	3	3	4	4	35	35	21	21	56	56	22.1%
30	4	3	3	4	4					1	1			3	3							7	7	4	4	11	11	4.3%
30	5															1	1							1	1	1	1	0.4%
合計		64	64	33	33	3	3	2	2	48	48	21	21	36	36	21	21	11	11	15	15	162	162	92	92	254	254	100.0%

スキー・スノーボード事故者救急搬送集計表(現住所別搬送人員)

羊蹄山ろく消防組合

救急隊名 出身地名	倶 知 安		蘭 越		ニ セ コ		喜 茂 別		京 極		小 計		合 計	割 合
	ス キ ー (人)	ボ ー ド (人)	ス キ ー (人)	ボ ー ド (人)	ス キ ー (人)	ボ ー ド (人)	ス キ ー (人)	ボ ー ド (人)	ス キ ー (人)	ボ ー ド (人)	ス キ ー (人)	ボ ー ド (人)		
組 倶知安町内	3	5			1	1					4	6	10	3.9%
蘭越町内														
ニセコ町内					1						1		1	0.4%
合 真狩村内														
留寿都村内							1				1		1	0.4%
喜茂別町内														
内 京極町内							1				1		1	0.4%
後 志 管 内						1						1	1	0.4%
北 海 道 内	4	2			3	1	9	6	2	2	18	11	29	11.4%
北 海 道 外	13	6	1		16	6	16	6	4	3	50	21	71	28.0%
国 外	44	20	2	2	27	12	9	9	5	10	87	53	140	55.1%
合 計	64	33	3	2	48	21	36	21	11	15	162	92	254	100%

国外者内訳	搬送人員	割 合
オーストラリア	40	28.6%
中国(香港)	26	18.6%
シンガポール	16	11.4%
中華民国(台湾)	9	6.4%
アメリカ	6	4.3%
イギリス	6	4.3%
マレーシア	6	4.3%
カナダ	6	4.3%
ニュージーランド	4	2.9%
タイ	4	2.9%
インドネシア	2	1.4%
韓国	2	1.4%
フィリピン	2	1.4%
スイス	2	1.4%
ノルウェー	2	1.4%
フランス	1	0.7%
その他	6	4.3%
合 計	140	100%

スキー・スノーボード等事故者救急搬送人員調(平成7年12月～平成30年5月)

年	月	～	年	月	倶知安		蘭越		ニセコ		喜茂別		京極		小計		合計	外国籍
					スキー	ボード	スキー	ボード	スキー	ボード	スキー	ボード	スキー	ボード	スキー	ボード		
7	12	～	8	5	30	20	4	1	30	10	22	21			86	52	138	
8	11	～	9	4	41	56	4	3	41	38	34	26			120	123	243	
9	12	～	10	5	47	54	0	3	44	47	26	19			117	123	240	
10	11	～	11	5	42	69	3	2	44	47	29	47			118	165	283	
11	11	～	12	5	30	56	3	3	40	57	17	52			90	168	258	
12	12	～	13	5	43	60	5	8	39	44	20	34			107	146	253	
13	12	～	14	4	41	57	8	2	38	32	22	39		1	109	131	240	
14	11	～	15	5	22	61	6	5	37	36	32	33	3	12	100	147	247	
15	12	～	16	5	28	56	5	3	40	33	19	20	4	3	96	115	211	
16	11	～	17	5	25	50	5	2	38	24	21	18		6	89	100	189	
17	12	～	18	5	27	42	4	1	37	37	21	32	6	11	95	123	218	23
18	12	～	19	5	23	46	2	8	37	42	23	28	3	9	88	133	221	45
19	12	～	20	4	39	34	9	7	32	37	26	36	8	4	114	118	232	74
20	12	～	21	5	28	37	5	5	35	32	30	23	5	3	103	100	203	56
21	12	～	22	5	34	50	5	4	40	28	27	18	8	5	114	105	219	72
22	12	～	23	5	40	41	3	4	36	19	23	18	4	6	106	88	194	70
23	12	～	24	5	25	31	6	6	40	20	20	23	8	1	99	81	180	61
24	12	～	25	5	43	34	7	1	36	28	28	29	10	5	124	97	221	94
25	12	～	26	5	51	49	5	5	58	37	19	28	11	5	144	124	268	129
26	12	～	27	5	61	35	7	4	54	33	25	29	10	3	157	104	261	158
27	12	～	28	5	74	50	9	3	52	31	28	29	5	6	168	119	287	184
28	12	～	29	5	60	54	5	5	65	29	36	34	13	6	179	128	307	151
29	12	～	30	5	64	33	3	2	48	21	36	21	11	15	162	92	254	140
合 計					918	1,075	113	87	961	762	584	657	109	101	2,685	2,682	5,367	1,257
					1,993		200		1,723		1,241		210		5,367			

備考

1 京極救急は、平成14年4月1日から運用開始した。

山岳救助出動件数(過去5年間)

資料5-1

年	発生町村	俱知安町	蘭越町	二セコ町	真狩村	留寿都村	喜茂別町	京極町	計
平成26年(2014年)	夏山	1		1	1				3
	冬山		1			1			2
平成27年(2015年)	夏山	3	1		3			1	8
	冬山		1	1					2
平成28年(2016年)	夏山	2			4	1			7
	冬山	1	1	1	1			1	5
平成29年(2017年)	夏山	1		2	2	1			6
	冬山	3	1						4
平成30年(2018年)	夏山	3	1	3	3		2	2	14
	冬山	4	1			2			7
累 計	夏山	10	2	6	13	2	2	3	38
	冬山	8	5	2	1	3		1	20
	計	18	7	8	14	5	2	4	58
過去5年間の 平均出動件数		3.6	1.4	1.6	2.8	1.0	0.4	0.8	11.6

備 考 1 上段は、夏山(6月～10月)救助件数
2 下段は、冬山(11月～5月)救助件数

水難救助出動件数(過去5年間)

資料5-2

年	発生町村	俱知安町	蘭越町	二セコ町	真狩村	留寿都村	喜茂別町	京極町	計
平成26年(2014年)	流水								
	静水								
平成27年(2015年)	流水								
	静水								
平成28年(2016年)	流水	1							1
	静水								
平成29年(2017年)	流水								
	静水		1						1
平成30年(2018年)	流水		1						1
	静水								
累 計	流水	1	1						2
	静水		1						
	計	1	2						3
過去5年間の 年間平均出動件数		0.2	0.4						0.6

備 考 1 上段は、流水(河川)における救助件数
2 下段は、静水(湖・沼・池等)救助件数

平成30年 山岳救助・水難救助出動状況

資料5－3

羊蹄山ろく消防組合

出動No.	月日	曜日	覚知時間	種別	災害発生場所	出動有無	活動有無	災害体制(地上出動隊延べ人員)																出動ヘリ				救出部隊	要救助者				発生原因	事案概要	
								組合管内出動人員								組合管外出動人員								防災ヘリ	札幌ヘリ	道警ヘリ	Drヘリ		住 所	性別	年齢	死傷等			
								山岳救助隊	水難救助隊	消防職員	消防団員	町村職員	警察官	その他の公的機関	その他	自衛隊員	消防職員 岩内・寿都	北後志	札幌市	西胆振	消防団員	市町村職員	道警山岳遭難救助隊												自衛隊員 その他の公的機関
1	1/10	水	18:58	山岳	蘭越町 前目国内岳付近	○	○	8		12			1		8												自力下山	ニセコ町	男	29	無事	悪天候	「新見温泉から目国内岳へ単独入山、連絡が取れない。」と同僚からの救助要請。山岳救助隊、消防隊にて捜索するも発見に至らず現場引揚後、本人自力下山。		
2	2/1	木	10:52	山岳	倶知安町 ニセコアンヌプリ北斜面	○	○	10		10			2										○				防災ヘリ	オーストラリア	男	33	負傷	転倒	立木衝突により負傷している男性をツアー中のガイドが発見、救助要請。防災ヘリにてホイスト救助し救出完了。		
3	3/19	月	13:11	山岳	倶知安町 羊蹄山 5合目付近	○	○	8		5			6										○		○		防災ヘリ	登別市	男	57	死亡	滑落	同僚からの捜索要請。標高850m付近で遭難者が倒れているのを道警ヘリが発見。防災ヘリが救助。		
4	4/5	木	11:54	山岳	倶知安町 イワオヌプリ東斜面	○	○	10		8			1									○		○	○	防災ヘリ 道警ヘリ	札幌市	男	24	負傷	転倒	「バックカントリー中に2名が転倒し負傷した。」との救助要請。先着防災ヘリにより1名救助。山岳救助隊は、もう1名を道警ヘリに引き継ぎ救出完了。			
																											札幌市	男	23	負傷	転倒				
5	6/2	土	12:28	水難	蘭越町 目名川河口	○	×		2	7																—	不明			死亡	不明	「河川に人が浮いている。」との救助要請。社会死状態のため非活動で警察官に引き継ぎ終了。			
6	6/2	土	13:05	山岳	ニセコ町 イワオヌプリ	○	×	5		8			4												○	道警ヘリ	倶知安町	女	36	無事	道迷い	登山道から外れていることに気づき救助要請。道警ヘリにてホイスト救助し救出完了。			
7	6/17	日	11:20	山岳	喜茂別町 羊蹄山喜茂別コース (6合目付近)	○	○	10		6			2										○				山岳救助隊	石川県	男	58	負傷	滑落	「羊蹄山7～8合目付近にて100m程度滑落を目撃した。」との別の登山者より救助要請。山岳救助隊が要救助者を発見、介添えにて下山し救出完了。		
8	6/22	金	11:48	山岳	京極町 羊蹄山京極コース (6合目付近)	○	○	15		7			2										○				防災ヘリ	兵庫県	男	41	無事	疲労	「1名が体調不良により歩行不能」との同行者からの救助要請。山岳救助隊が要救助者に接触、天候不良のため防災ヘリホイスト救助可能位置まで介添えて下山し防災ヘリに引き継いだ。		
9	6/30	土	13:54	山岳	ニセコ町 イワオヌプリ	○	×	4		7																	自力下山	不明	女		無事	悪天候	「イワオヌプリ山頂で視界不良により下山ルートがわからない。」との救助要請。出動途上、自力下山により出動解除。		
10	7/20	金	19:54	山岳	真狩村 羊蹄山真狩コース (1合目付近)	○	○			8			3														消防隊	安平町	男	42	無事	その他 (装備不備)	「下山中ライトが切れてしまい暗くて下山出来ない。」との救助要請。消防隊が要救助者に接触、介添えて下山し救出完了。		
11	7/21	土	11:48	山岳	ニセコ町 イワオヌプリ	○	○	2		12			3														山岳救助隊 消防隊	北広島市	女	23	無事	道迷い	「濃霧のため登山ルートから外れ迷った。」との救助要請。山岳救助隊及び消防隊が要救助者を発見、介添えて下山し救出完了。		
12	7/21	土	12:36	山岳	倶知安町 羊蹄山比羅夫コース (9合目付近)	○	○	6		6										5			○				山岳救助隊 道警山岳救助隊	札幌市	男	26	無事	疲労	「9合目付近を下山中、疲労と寒さで行動不能。」との救助要請。山岳救助隊が避難小屋にいた要救助者と接触。道警山岳遭難救助隊と共にビバークし翌朝介添えにて下山し救出完了。		
13	7/26	木	15:10	山岳	真狩村 羊蹄山真狩コース (2.5合目付近)	○	○	10		6			3												○	道警ヘリ	神奈川県	男	82	無事	疲労	「9合目付近下山中と家族に連絡をしたのを最後に夫と連絡が取れなくなった。」との家族より救助要請。道警ヘリが要救助者を発見、ホイスト救助し救出完了。			
14	7/31	火	22:53	山岳	倶知安町 羊蹄山比羅夫コース (2合目付近)	○	○	8		2			1														山岳救助隊	大阪府	女	68	無事	疲労	「下山中、妻が疲労で動けない。」との家族からの救助要請。山岳救助者が要救助者と接触、背負い搬送にて下山し救出完了。		
15	8/2	木	11:44	山岳	喜茂別町 羊蹄山喜茂別コース (山頂付近)	○	○	6		4															○	道警ヘリ	ニセコ町	女	36	負傷	滑落	「山頂で女性が2m程の滑落した。」との別の登山者から救助要請。道警ヘリが要救助者を発見、ホイスト救助にて救出完了。			
16	8/3	金	14:50	山岳	真狩村 羊蹄山真狩コース (9合目付近)	○	○	9		7			2												○	道警ヘリ	札幌市	男	61	負傷	転倒	「9合目付近を下山中、転倒により負傷した。」との同行者からの救助要請。道警ヘリが要救助者と接触、ホイスト救助にて救出完了。			
17	9/2	日	19:34	山岳	京極町 羊蹄山京極コース (4合目付近)	○	○	8		6			1														山岳救助隊 消防隊	札幌市	男	22	負傷	病気 (脱水症状)	「4合目付近下山中、男性が両足の感覚がなくなり歩行不能。」との同行者からの救助要請。山岳救助隊及び消防隊が要救助者と接触、背負い搬送にて下山し救出完了。		
18	9/14	金	21:33	山岳	倶知安町 羊蹄山比羅夫コース (1合目付近)	○	○			4			3														救助隊	東京都	男	63	無事	道迷い	「比羅夫コースを一人で下山中、倒木を迂回した際に道に迷った。」との救助要請。救助隊が要救助者を発見。介添えにて下山し救出完了。		
19	10/20	土	18:34	山岳	蘭越町 コックリ湖登山道	○	○			8			1														消防隊	札幌市	男	43	無事	道迷い	「コックリ湖より下山途中、道に迷った。」との救助要請。消防隊が要救助者を発見、介添えにて下山し救出完了。		
20	11/3	土	23:37	山岳	倶知安町 羊蹄山比羅夫コース (6.5合目付近)	○	○	11		3			5							5			○		○	防災ヘリ 道警ヘリ	中華人民共和国	女	36	負傷	病気 (低体温症)	「7合目付近を下山中、1名が行動不能となった。」との同行者から救助要請。山岳救助隊が要救助者と接触。道警山岳遭難救助隊と共に登山道でビバークし翌朝防災ヘリ、道警ヘリでホイスト救助し救出完了。			
																											中華人民共和国	女	26	無事			疲労		
21	12/15	土	17:17	山岳	留寿都村 Mt.イゾラヘブンリーコース外 (貫気別山)	○	×	12		5			1		11												スキーパトロール 隊	香港 (スペイン国籍)	男	48	無事	道迷い	「コース外を滑走中、道がわからなくなった。」との救助要請。活動中のスキーパトロール隊が発見、救出した。		
22	12/15	土	19:02	山岳	留寿都村 Mt.イゾラヘブンリーコース外 (貫気別山)	○	×	12		5			1		11												スキーパトロール 隊	オーストラリア	女	51	無事	道迷い	「2名でコース外滑走中、方向を見失って戻れない。」との救助要請。活動中のスキーパトロール隊が発見、救出した。		
																												オーストラリア	女	22	無事			道迷い	
合 計						22	17	154	2	146			42		30										7		7	1		25					

山菜採り行方不明者搜索出動件数(過去10年間)

資料5-4

町村 年		倶知安町	蘭越町	ニセコ町	真狩村	留寿都村	喜茂別町	京極町	計	
平成21年(2009年)	春	2	7	1		1	4		15	18
	秋			1		1		1	3	
平成22年(2010年)	春	1	3	2			2		8	8
	秋								0	
平成23年(2011年)	春		4			1		2	7	9
	秋		1					1	2	
平成24年(2012年)	春	2	5	3		1	4	1	16	17
	秋	1							1	
平成25年(2013年)	春	2	2	2	1		1	1	9	13
	秋		2				2		4	
平成26年(2014年)	春	1		1			1		3	5
	秋						1	1	2	
平成27年(2015年)	春	1	3	1	1	1	1	1	9	12
	秋			1	1	1			3	
平成28年(2016年)	春	1	3	1			3		8	9
	秋						1		1	
平成29年(2017年)	春	2	4				4		10	13
	秋					1	1	1	3	
平成30年(2018年)	春		4	2		2	1		9	10
	秋		1						1	
累 計	春	12	35	13	2	6	21	5	94	114
	秋	1	4	2	1	3	5	4	20	
	計	13	39	15	3	9	26	9	114	
過去10年の年間 平均出動件数		0.5	1.5	0.6	0.2	0.5	1.3	0.3	4.9	

- 備考
- 1 上段は、春季の山菜採(主にタケノコ類)行方不明者搜索出動件数
 - 2 下段は、秋季の山菜採(キノコ類)行方不明者搜索出動件数

資料5-5

[illegible]

平成30年 ヘリコプター要請・活動状況調

資料6

区 分			災害発生消防署・支署							合計	備考
			倶知安	蘭越	ニセコ	真狩	留寿都	喜茂別	京極		
出動件数 (件)	救急	現場直接	21	9	5	8	5	2	5	55	「病院経由」とは、消防機関の所有する救急自動車で一次医療機関へ収容後、高次医療機関等へヘリコプター搬送することをいう。(ただし、医師往診及び病院内外の一時処置は除く。)
		病院経由	3		1					4	
		病院間	8							8	
		医師搬送									
		資機材搬送									
		不搬送									
		小計	32	9	6	8	5	2	5	67	
	救助等	救助	4					1	1	6	「不搬送」とは、出動したが死亡及び病状回復等のため搬送しなかったことをいう。
		捜索		1	1		1			3	
		その他									
		非活動									
		小計	4	1	1		1	1	1	9	
	出動件数合計		36	10	7	8	6	3	6	76	「非活動」とは、出動したが到着前に発見され、活動を行わず帰隊することをいう。
	(うちドクターヘリ)	現場直接	20	8	5	8	4	2	4	51	
		病院経由	1		1					2	
		病院間	7							7	
		医師搬送									
		資機材搬送									
		不搬送									
		小計	28	8	6	8	4	2	4	60	
非出動統計 (件)	非出動件数	救急	31	12	13	6	8	5	2	77	「非出動」とは、要請されたが悪天候等のため出動(離陸)できなかったことをいう。
		救助									
		捜索		1				1		2	
		その他									
		非出動合計	31	13	13	6	8	6	2	79	
	非出動理由	天候不良	22	6	10	4	6	1	2	51	「その他」の内訳は、要請側で病状回復等のためキャンセルしたことによる。
		出動中	6			1	1	1		9	
		整備中									
		日没	1		1					2	
		その他	2	7	2	1	1	4		17	
		非出動理由合計	31	13	13	6	8	6	2	79	

平成30年 ヘリコプター要請・活動状況調

区 分			災害発生消防署・支署								合計	備考
			倶知安	蘭越	ニセコ	真狩	留寿都	喜茂別	京極	管外		
出動機隊 (機)	防災ヘリ	はまなす2号	7	2			2	1	1		13	
		すずらん(大地)	1						1		2	
	ドクターヘリ		28	8	6	8	4	2	4		60	
	札幌ヘリ				1						1	
	道警ヘリ											
	自衛隊ヘリ											
	海保ヘリ											
	その他ヘリ											
	機体合計		36	10	7	8	6	3	6		76	
離着陸場 (回)	倶知安中央公園(隣接着陸場合含む。)		18	1	4				1		24	非着陸とは、主に捜索等で着陸しないでそのまま活動を行うときと、現場へ飛行中、悪天候のため帰投することをいう。
	倶知安駐屯地		8	1							9	
	倶知安町除雪機械センター											
	蘭越町山村広場			2							2	
	ニセコヘリポート				1						1	
	真狩村除雪センター					5					5	
	留寿都村総合グラウンド(サブグラウンド)						2				2	
	喜茂別町民野球場											
	京極町スリーユーパーク								2		2	
	組合管内(上記以外)		4	5	2		2	2	2		17	
	組合管外		2			1	1				4	
	非着陸		4	1		2	1	1	1		10	
	着陸場合計		36	10	7	8	6	3	6		76	
ヘリコプター要請機関 (件)	指令センター		36	10	7	8	6	3	6		76	119番通報は指令センターが受信しており、ヘリコプターの要請は、大半が指令センターで実施しているが、支署が一般電話で災害を覚知した場合は、当該支署が要請を行っている。
	蘭越支署											
	ニセコ支署											
	真狩支署											
	留寿都支署											
	喜茂別支署											
	京極支署											
	組合管外											
	合計		36	10	7	8	6	3	6		76	

平成30年 ヘリコプター要請・活動状況調

区 分			災害発生消防署・支署							合計	備考
			倶知安	蘭越	ニセコ	真狩	留寿都	喜茂別	京極		
救 急 統 計	ヘリ 要 請 医 療 機 関 合 計 (人)	倶知安厚生病院	11		1					12	倶知安町内医療機 関は、倶知安厚生病 院を除いた機関
		倶知安町内医療機関	11		1					12	
		蘭越町内医療機関									
		ニセコ町内医療機関									
		真狩村内医療機関									
		留寿都村内医療機関									
		喜茂別町内医療機関									
		京極町内医療機関									
		要請医療機関合計	22		2					24	
	救 急 患 者 出 身 地 (人)	倶知安町	13							13	
		蘭越町	1	5						6	
		ニセコ町		1	6					7	
		真狩村				5				5	
		留寿都村					2			2	
		喜茂別町					1	1		2	
		京極町							5	5	
		国内	19	4	1	3	3	2	1	33	
		国外	3							3	
		出身地合計	36	10	7	8	6	3	6	76	
	収 容 病 院 別 搬 送 人 員 (人)	倶知安厚生病院	5	2	1	2	2		1	13	
		手稲溪仁会病院	20	4	5	5	1	1	2	38	
		札幌医大附属病院	2				2		1	5	
		市立札幌病院	1							1	
		北大附属病院									
		美唄労災病院									
		札幌市内病院	1	1						2	
		小樽市内病院	4	1		1				6	
		その他の病院等	1						1	2	
		搬送人員合計	34	8	6	8	5	1	5	67	
	ヘリ 置 場 所 (人)	災害現場	1							1	ドクターヘリ不搬送 時も、処理を実施し ている場合がある。
		離着陸場	27	8	6	6	4	1	4	56	
		要請病院等									
		一次収容病院等									
		処置場所合計	28	8	6	6	4	1	4	57	
	平 均 時 間 (時分)	はまなす2号	1:10	5:31			1:23	1:18	1:16	1:20	救急出動を対象に要 請から到着までの平 均時間を算出
		ドクターヘリ	0:34	0:29	0:27	0:42	0:25	0:18	0:22	0:30	
救 助 統 計	救 助 人 員 (人)	山菜搜索		2	1		1			4	
		山岳救助	5					1	1	7	
		その他									
		救助人員合計	5	2	1		1	1	1	11	

備考

1 ヘリコプターの出動毎に計上する。(当組合要請分に限る。)

2 ヘリコプターの出動統計は、当組合の直接出動要請により、又は当組合を経由した出動要請により出動したものを記載する。